

2001年 第2期

- 1.10 ボランティア対象のパソコン教室:ニューメディア協会委託事業
- 1.21 「NPO化」説明会、兼新人会員歓迎会(グリーンホテル)
- 2.12 久留米市の委託事業IT講習会開始
- 2.20 諏訪中学校パソコン教室へ、講師派遣
- 3.01 月星化成と荘島プラザ事務所賃貸契約締結
- 3.06 荘島プラザにウイルス対策室開設
- 4.06 荘島プラザ発足会、及び披露パーティ
- 4.09 2001年度IT講習会開始(第1回)
- 4.23 MIDI教室開始
- 5.13 東京ミニオフ会
- 5.27 SNK総会、新人会員歓迎会
- 6.06 USAシニアネット アン・リクソン氏来訪
- 6.23 カブト虫販売:六つ門商店街土曜夜市
- 8.21 エールピア:IT講習会開始・・・3/29終了
- 10.07 第1回筑後川芋煮会
- 10.09 熊本シニア理事会「来訪」
- 11.17 シニアインフェスタ IN 九州

2000年 第1期

- 1.23 新人会員歓迎新年会オフ会()
- 1.26 シニアネット仙台とのテレビ電話
- 3.04 インターネットフェスタ2000に出展参加
- 5.27 九州シニアネット九重キャンプ、野外交流会(～28日まで)
- 6.18 総会、新人会員歓迎交流会(BS会館)
- 6.30 マイクロソフトより助成金受領
- 8.29 SIPのラーニングセンター完成
- 9.16 シニア情報プラザ久留米を設立:六つ門商店街有志と共同で行
- 9.17 SIPラーニングセンターでシニア対象の有料パソコン教室開校
- 11.04 HP委員会メンバーにより六つ門商店街ホームページ制作開始
- 11.18 NHKテレビにてSNKを全国放送で紹介
- 11.13 美味かもんば喰う会、津福サロン
- 12.09 久留米インターネット協議会主催のインターネットフェスタに出展
- 12.29 「NPO法人シニアネット久留米」登記完了

カナダに住んだ菊池徹先生は地質学者です。SNK創設からのメンバーであり南極観測第1次越冬隊に参加し南極物語の高倉健のモデルでよく知られています。カナダ・バンクーバーに在住SNKの発会式には出席頂き、講演をお願いしました。カナダからE mail で距離感の無い交信を楽しんでいました。



1998～99年

- 1998 3.08 インターネットフェスタ '98 に出展参加
- 4.05 任意団体シニアネット久留米、発会式
- 6.07 オフ会:見返りの滝、第1回バスハイク
- 8.23 オフ会:牟田さんのログハウスでのオフ会
- 11.09 新入会員歓迎会(創世)
- 1999 3.21 シニアネット久留米総会 '99
- 3.31 ふれあいパソコン教室
- 4.03 シニアネット福岡との合同オフ会
- 5.09 シニア・夢プロジェクトin沖縄(～11日まで)
- 5.23 基山支部発会式
- 6.20 オフ会:ドングリ村で歌おう
- 8.11 久留米城物語、アーカイブ資料打ち合わせ
- 8.11 基山支部のパソコン教室開設
- 10.00 津福サロン(三輪菜園芋掘り)収穫祭・観月会
- 10.23 サンライフ文化祭へノート4台でインターネット体験
- 11.21 Create Festa '99 (世界音楽祭) 於石橋文化ホール
- 12.09 第1回竹炭焼き作り(うまかもんチーム)
- 12.14 男の料理--「キムチ作り体験の集い」

新しい時代

草創期を脱し NPO シニアネット法人登録
シニアネットは各地から訪問者を迎える

インターネットを通して、「シニアの生き甲斐づくり仲間づくり」を推進し、「奉仕されるより奉仕しよう」の精神で、『シニア自らが楽しみながら持てる経験や知識を地域社会に生かし、貢献していくことを目的とする』を理念として掲げたシニアネット久留米は、NPO法人登記を2000年12月29日に行う。会員諸氏の活動はパソコン教室、ホームページ作成などパソコンを介したネットの構築は進む。この動きはマスコミによる報道するところとなる。地域の関係団体などの支援もあり、SNKの活動を盛り上げ評判を伝え、ネットへの期待感を呼びかけ、活動の定着を支えることとなる。会員は九重キャンプなどオフ会に集い、楽しむ。SIP(シニア情報センター)など基盤整備は進む。

2001年はアメリカをはじめ各地からの視察が相次ぐ。USAシニアネット代表アン・リクソン氏をはじめ、熊本シニアネット理事会、都城市議会、福井県坂井町役場、滋賀県商工会議所、電通、群馬商工労働部、リクルート、大牟田市中央公民館、聖マリア病院、防府青年会議所、日本専門店会、北海道商店街振興会、全国商店街振興会、など

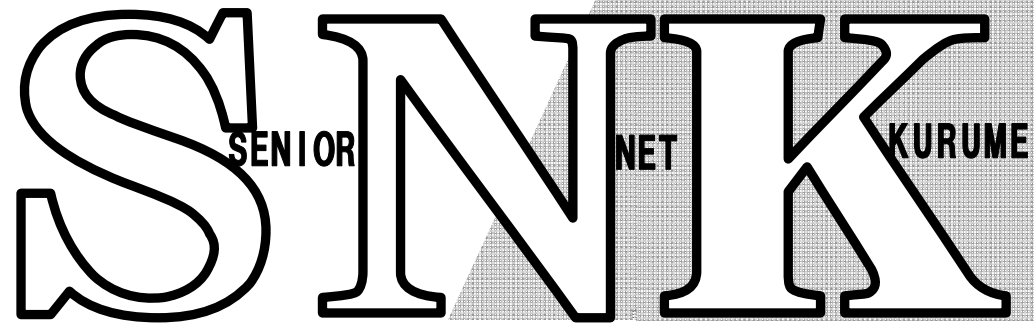
『高齢者こそインターネットを』1998.9.8付の西日本新聞(筑後版)はSNKを次の記事で紹介した。「高齢者の生き甲斐や仲間づくりを支援するNPOシニアネット久留米は日ごろの活動を伝える広報紙を創刊した」と伝えている。当時の役員は

代表	島井新一郎
事務局長	古賀 直樹
広報出版委員長	須佐 卓郎
ホームページ委員長	野口 喜好
パソコン教室委員長	渡辺 正義

1997年

- 4.01 シニアネット久留米研究会発足(発足当時会員数25名)
- 5.30 「世話焼き隊」のパソコンよろず相談会5月例会
- 6.05 第1回懇親会「出てこんの・かたらんのパーティ」
- 7.18 第1回広報出版委員会、ホームページ委員会

(あとがき) 時間と空間を束ねる魔法に少し触れたようです。10年史とは短いものだが、シニアネットを改めて考える時間が出来、世界は地域があって存在することを教えられた。(式)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 廣津芳信
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

特集 SNK10年史 シニアの力で心の時代をといもどそう

草創の初期、インターネットの利便と機能を活用しようとする人たちが集まった。青年の気概で臨むシニアたちは手際よくその能力を分担して熱気の中で組織化を進める。人の集まりだから、方法論を巡って期待を空回りさせる事態は起きる。混乱は避けねばならない。新しい時代への序章である。

デジタルアーカイブ研究会、ホームページ班の活動は組織の足腰を強くし、IT技術集団として人材育成と陣容整備が進む。久留米から発信するデジタル情報は、地域を超えて『e-ふるさと財団』のA評価を受けて日本の先進地域であることを証明した。時代の要請に応えたこととはいえ、競って学ぶ集団の栄光でもありました。

仲間づくりはサークルをもって進化し、ダンス(シャルウイダンス)・音楽バンド(珍竹林バンド⇒後にチッゴアミーゴスバンドへ)などを結成。サークルは地域へ出かけては実力をつけて評価を高めていった。

シニアたちの中から新しい機運も育ち、ボランティア活動の当初は冬場の道路清掃「落ち葉拾い隊」に始まり、「にこにこステップ運動」・「教育支援」はチームを編成して活動「水天宮・流し灯籠」など地域の要請に応えた。また久留米市との業務委託契約による、広報くめ(町の話取材・記事提供)ジョイナス(ボランティア情報紙の編集作成)などがある。久留米大学主催「久留米まちづくりフェスタ」に於ける、私の提言(島井新一郎)「発酵生ゴミ活用農園」はグランプリである市長賞を得た。

10年の活動記録を繰っていくとシニアの「生きがいづくり仲間づくり」はやがて「奉仕されるより奉仕しよう」へ、組織はしなやかに変身している。荒木農園などふたつの農園を経営して模索する『癒しの森構想』など、弱者救済のボランティア精神は地域の人々を巻き込みながら、力強くシニアネットの精神として息づいている。シニアひとりではなく、シニアひとり一人が心 を共有できる10年を目指してきた。

個人を活かした支え合い社会、心の時代を考えています。 記: 広報紙・編集長 一ノ瀬尚文



晴天の続く19日、筑後川河川敷にて秋の旬・里芋の芋煮会です。豚バラの美味しいところやウインナーを鉄板焼き、差し入れのむかごおにぎり..を食べ、皆で語り、平和で豊で大きな筑後平野の秋を満喫しました。「第8回 芋煮会」の段取・準備からお世話して頂いた皆さんに感謝して、筑後川の開放された秋の空気が美味しい。メールが飛びかいお互いの顔を、ああこの人だったと確認して心が和む1日、健康に感謝するシニアでした。10月最後の日曜日は「10周年シニアネットフェスタ」に集い、市民のみならずとも顔見知りになりたいものです。 左写真は10月19日筑後川芋煮会

2008年 第9期 10月26日は10周年シニアネットフェスタ

- 1.16 e-Tax確定申告の件久留米税務署より2名来訪
- 1.25 拡大委員会開催
- 2.22 荒木農園(100坪)活動開始(参加者:15名)
- 3.08 10周年記念事業実行委員会発会:第1回会議
- 4.01 広報SNK第17号発行:教育ボランティア特集
- 5.26 第8回SNK総会、新人歓迎会・会員交流会(HニューP)
- 6.14 荒木農園 ジャガイモ収穫祭
- 7.21 うまかもんば喰う会 in 基山 そうめん流し
- 8.04 くるめ水の祭典・総おどりに参加
- 8.15 筑後川のお盆の流し灯籠に応援参加
- 10.19 第8回筑後川芋煮会
- 10.26 10周年記念シニアネットフェスタ(六角堂)、サミット開催

年間を通じた主な行事、活動など概要

- 1・総会: 5月/年1回
- 2・新人会員歓迎会: 5月、11月/年2回
- 3・広報紙は原則3ヵ月毎発行/年4回、春4月・夏7月・秋10月・冬1月
- 4・ボランティア行事
灯籠流しボランティア: 8月15・16日
教育支援ボランティア: 京町小、荘島小
にこにこステップ運動: 5会場指定
- 5・サークル活動
・チッゴアミーゴス
・シャルウイダンス
・ほか ...グループ毎の活動

2007年 第8期

- 3.06 SNK教育支援ボランティアチーム荘島小学校参観
- 4.01 SNK本部、荘島で新たなるスタート
- 5.27 第7期通常総会、新入会員歓迎会&交流会(参加者101名)
- 6.18 にこにこステップ運動スタート
- 6.20 教育ボランティア京町小学校 算数指導開始
- 6.21 教育ボランティア荘島小学校 部活囲碁
- 8.17 活性化P/J発足。11月にCD(SNKの紹介)を作成
- 8.17 東京福祉大学・田中講師の取材(同大の公開講座)
- 8.19 恒例のソーマン流し(参加者:38名)
- 9.23 「健康いきがいのあるフェスタ」、SNKから多数参加
- 9.30 第11回ふるさと探検(柳川、大牟田万田敏跡・参加者28名)
- 10.14 チッゴ・アミーゴス「キッズフェスタ」出演
- 10.28 芋煮会(参加者:60名)
- 12.29 年末餅つき大会(参加者:43名)

2006年 第7期

Topic

シニアだけではなくサポーターを含めた会員の活動はより人間味をもった活動へと進む。人と人の暖かいコミュニケーションを育てながら、地域との接点を図るのもより人間的だと言えるし、人のもつ優しさです。

創設の時代から指導的な立場にいた菊池徹氏が逝去された。また、会員として皆に愛されたこーちゃんを偲んで「偲ぶ会」が催され生前の人柄を偲びました。

難病の歌人は才能に恵まれ、たくさんの遺稿を残して天国へ旅立った。歌人の友だちであり SNK 会員の一人が「夢ならば」歌集出版を思い立ちメールで呼びかけた。皆はそれに応じて支援カンパして、苦しんだ歌人中島輝代子歌集は出版された。

2005年 第6期

- 2.09 インターネットウキウキと代理店契約
- 2.28 シニアネットフォーラムin東京へ須佐理事長出席
- 3.31 電子書庫、新ページ「田中吉政公とその時代」が完成
- 5.12 久留米市情報誌「ジョイナス」取材・編集業務委託契約
- 5.29 第5期通常総会、新入会員歓迎交流会開催
- 6.02 技術部会議(今期取り組み課題検討)
- 6.03 情報誌「ジョイナス」(第16号)初回納品
- 7.01 初めてのPC講座受講者累計500名越える(H15年8月以降)
- 7.11 パソコン講座活性化小委員会スタート
- 8.15 「流し灯籠」ボランティア18名参加
- 8.25 九重・子と孫の自然体験の会 30名参加(～27日まで)
- 9.01 チッゴアミーゴスNHKふくおか一番星生出演
- 10.01 初級エクセル夜間講座開設
- 10.13 チッゴアミーゴス、施設「つつじ苑」慰問演奏(3ヶ所)
- 11.13 SNK新入会員歓迎交流会
- 11.30 荘島小学校平和学習授業(戦争体験を語る)SNK会員参加
- 12.03 子供対象ハガキ講座(教育研究所)実施 72名参加
- 12.07 岩手県長寿社会振興財団研修一行(18名)来訪

Topic

小島理事をリーダーとして、「落ちこぼれの子どもをなくそう」に共感、教育ボランティアチームが編成され、2小学校への支援。

京町小(2.3年生算数)・荘島小学校(4～6年生以後将棋)がその対象である。孫ほどの歳に当たる子どもたちとの新しいコミュニケーションの場が作られた。

「にこにこステップ運動」ステップ台を上り下りする運動を続けることで、体力の維持と健康につながることを目的として開発された運動です。運動習慣を身に付けてより健康を維持するのが目的です。

「久留米まちづくりフェスタ」会員・島井さんの環境と街づくりを考えたレポートは久留米市長賞を受ける。会員たちは集まり夫々に新しい企画に挑戦、活動を楽しむ。SNK 本部は荘島へ移転する、環境を新たに活動は続く。

- 2.27 情報誌「ジョイナス」(第19号)契約最終納品
- 4.09 こーちゃんを偲ぶ会15名参加
- 4.14 シネマ倶楽部総会
- 5.18 菊池徹氏告別式(須佐理事長参列)
- 5.30 第8回ふるさと探検 山口・萩 27名参加
- 6.09 2010年つばきサミットの件、藤枝九大教授、打ち合わせ
- 7.19 野の庵訪問、HP制作納品の件(松尾、江上、今津理事)
- 7.29 明星中学校ワード教室実施
- 8.30 和田先生、福岡安全Cより2名来訪、ステップ運動の件
- 9.11 ホームページレベルアップ講座、講師今村好典氏
- 9.24 チッゴアミーゴス、草の根コンサート出演(六角堂)
- 10.00 官公庁ファミリークラブHP制作納品
- 10.01 「初めてのPC」テキスト第5版編集会議
- 11.04 チッゴアミーゴス、医療生協健康まつり出演
- 11.12 中島輝洋子さん歌集「夢ならば」発刊、配布
- 12.09 SNK教育支援ボランティアチーム立ち上げ

Topic

久留米市との委託契約「広報くるめ」取材活動は2年目を迎え、市民と市政の接点を考える新しい共同作業である。またボランティア情報紙「ジョイナス」の取材契約を行う。この活動を通じて市内各地のボランティア団体、グループとの接点を広げていく。

情報収集・取材の活動を通じて得た沢山の写真を一堂に集め、広報くるめ取材写真展を行い、市民の皆さんへ公開し、SNKの仕事の広さを教える要因ともなった。

「チッゴアミーゴス」はNHK 一番星出演など話題が広がり、シニアの元気は広く世間へアピール。

そのような活発なサークル活動とは別に、アーカイブ電子書庫『田中吉政公とその時代』は完成する。会員は夫々の技能、特性を生かしながらグループとして集い、研鑽し、世に伝えるべき埋もれた財産を掘り起こす。

水天宮・流し灯籠(8月15日)の運営参加を要請されて、皆で参加する。地域とのコミュニケーションは深まる。

2002年 第3期

Topic

荘島プラザ1周年を迎え、IT リーダー資格者40名を超す会員の盛況である。デジカメ操作やホームページ作成講座を経た会員は実力をつけ、懸案のデジタルアーカイブ研究会もメンバーをそろえて活動を活発としていく。SNK ホームページを開発して広く皆さんに呼びかける基が出来る。

会員の実力が着実に上がるものの、運営は楽ではなく、事務局や講座担当者のボランティアに頼る運営でした。それでも、会員の意志も意欲も衰えることはなかった。

郷土史の研究会、ダンスのシャルウイダンス、登山の山歩会などサークル活動は活発である。

リサーチパークに新事務所を設けて次の展開に備える。毎日の活動自体は努力の成果だが、うまく回転が始まったといえる。

2003年 第4期

- 3.08 ブロードバンドフェスタ2003開催(～9日まで)
- 3.24 地域ITリーダー養成講座結果報告
- 4.04 新生SNK第1回理事会
- 4.09 筑後33箇所観音霊場巡り 1-16
- 4.30 パソコン運営委員会発足
- 5.02 シニアネット基山独立、スタート
- 5.06 パソコン講座開講
- 5.25 SNK定期総会、新入会員歓迎会(BSクラブ)
- 6.04 福岡県ねりんピック室、ねりん文化祭の件で来訪
- 7.29 筑後33箇所観音霊場巡り 30-33
- 8.01 初めてのパソコン講座開講
- 8.04 福岡県提案公募型事業ボランティアプロジェクト説明会
- 8.16 インターネットウイルス対策会議
- 8.21 九重、子と孫の自然体験の会 30名参加(～23日まで)
- 8.24 珍竹林バンド六角堂広場出演
- 10.07 e-ふるさと報告会へ須佐理事長出席
- 10.19 第3回筑後川芋煮会40名
- 11.15 福岡県ねりんスポーツ文化祭に参加120名「来訪」
- 12.04 写真同好会四季彩クラブ発会
- 12.25 本部パソコンのXP化推進:技術部連日の奮闘
- 12.27 荘島プラザEM百寿会発会

Topic

地域 IT リーダーの育成に励み、新生 SNK の組織運営など工夫が凝らされて、内部固めは続く。

『e-ふるさと財団』より“筑後デジタルアーカイブ”オール A 評価を受ける。全国規模のコンテストにより SNK が勝ち得たものは大きく、それはメンバー全員への励みとなった。特定メンバーによる仕事とは言えど熟練した技能と資料を集め理解できる内容まで読み砕き、深夜に及ぶ研鑽で作上げたものである。今もアーカイブは SNK の貴重な財産に変わりはない。



チッゴアミーゴスの晴れ舞台・演奏活動

2004年 第5期

Topic

活発に活動する会員によるエネルギーは、サークルを積極的に立ち上げて、同じ趣味嗜好の仲間たちを増やし集めていく。人の集まりの中へ、人と人のつながりをつくりながら、シニアたちは夫々の友好の励みとして集った。

第1回ふるさと探検「久留米がすり」が開催される。「チッゴアミーゴス」は博多どんたく出演へと足を運ぶ。などその活動は広く大きくなっていく。

市内中小学校教師を対象としたパソコンの講座 6 日間で参加者 109 名について初級指導を行った。関連することだが、講座に習熟するにつれて、初めてのパソコン講座自作のテキストを作成、使用することとなる。

第8.7.6 ⇒ 5.4.3期の順でお進み下さい

- 2.11 交流部運営委員会発会
- 3.04 大阪老人大学62名来訪、交流会(BSクラブ)
- 4.18 第1回ふるさと探検(久留米がすり)
- 5.04 珍竹林バンド博多どんたく出演
- 5.14 西日本新聞取材「訪問」
- 5.23 第4期通常総会、新入会員歓迎会(シーガルホテル)
- 5.24 広報くるめ業務委託契約
- 7.29 市内中・小学教師対象PC講座スタート:延べ6日間109名
- 8.06 九重・子と孫の自然体験の会30名
- 9.01 新メールサーバーの試行
- 9.30 ベスト電器との講師紹介契約終了
- 10.01 「初めてのパソコン講座」自作新テキスト使用開始
- 10.15 鹿児島県始良町退職校長会一行18名見学「来訪」
- 11.01 「初めてのパソコン講座」火曜日夜間講座開講
- 12.06 新潟中越地震義援金13万7千円、西日本新聞を通じて寄贈
- 12.25 市内子どもPC教室13名受講